

またたうら

心豊かな教育文化のまち
《仙北市教育委員会だより》
第131号

小学校での英語学習

現在小学校では、3・4年生で年間35時間(週1回)、5・6年生で年間70時間(週2回)、英語の授業が行われています。小学校だけで、合計210時間も英語を勉強しています。今回は神代小学校の5・6年生の様子をレポートします。



英語で意見交換する様子。

5年生は「want to」の勉強をしました。まず、チャンツ(歌)で表現に親しみました。あっという間に表現を覚え、友だちと「の勉強がしたい」「〜になりたい」と意見交換できるよつになりました。

6年生のテーマは「行ってみたい国」。これまで学んだ表現を使って、行きたい理由も含めて英会話をしていました。What?などのちよつとした表現を自然に使うことができ、学びの積み上げが感じられました。グローバル化が急速に進んでいる今、仙北市に住みながら世界とつながることが当たり前になってきています。仙北市は英語教育を充実させ、世界に羽ばたく人材の育成を目指しています。

英語授業の感想 6年 藤川煌さん

外国語の学習では、友だちや先生方と英語で交流するのが楽しいです。チャンツで練習すると、単語や文を覚えることができます。英語の言い方が分からないときは、友だちに聞いたりA.L.T.のイーサン先生に教えてもらったりして、昨年よりも英語で言える言葉が増えました。宝物や行ってみたい国を紹介するときに、友だちとスムーズに会話できてうれしかったです。これからもいろいろな言葉を覚えて、もっと交流を楽しみたいです。

英語教育充実のための施策

- ▼英語教育に関して優れた力を有する「教育専門監」を派遣しています。
- ▼英語に堪能な人材を「外国語指導助手」として2人任用しています。

十月は、田沢湖ミハラステラスへ 中山里沙



田沢湖の愛で方を、いくつお持ちでしょうか。人によって、例えば眺める場所、季節、時間帯、ふれ方など好みのポイントがあると思います。移住後の2年間で私なりの「愛でポイント」は少しずつ増え、また増やしていくことがいつのまにか趣味になりました。

たざわ湖スキー場グレンデ中腹にある「ぎんれいハウス」からの眺めは、特に惚れている景色の一つです。連なる山々に埋め込まれた青い鏡のよな湖の姿は、いつ見ても胸のすく思いがします。



現在、D.M.O.田沢湖・角館観光協会で、たざわ湖スキー場

をはじめとした事業者の皆さまと一緒に、「ぎんれいハウス」を中心としたグレンデを雪のないグリーンシーズンにも活用していく事業を進めています。ハウスをプチ改装して軽食やドリンクを提供する絶景カフェ&スペース「田沢湖ミハラステラス」として拠点化。昨年十月に実施された「紅葉リフト」、「電動マウンテンバイク乗車体験」を今年も行います。これらアクティビティ(体験)商品は、毎シーズンの定着化を図るため昨年度は実証事業として無料提供、今年度から有料化を図ります。

「田沢湖ミハラステラス」は、観光客の集客をもちろん狙っています。地域の皆さんの日々の暮らしの中で自主企画イベントや趣味の集まりなどに活用していただく場になってもらいたいという思いもあります。地域のよさ(こころ)は、地域の方のよさを生かすことで深く根付き、外から来る人にとってはそれがまた地域ならではの魅力に映るのだと思います。

ミハラステラス営業日、紅葉リフト、電動マウンテンバイク乗車体験実施日は十月の土日祝日(日数限定で星空観賞ツアー実施)。詳細はたざわ湖スキー場ホームページやチラシなどで紹介予定。田沢湖の愛で方をまたひとつ増やしに、ぜひ遊びに来てください。

角館小学校のクラブ活動

角館小学校では4〜6年生を対象に「クラブ」を行っています。内容はスポーツやアウトドア、伝統文化、パソコン、科学、フッキング、手芸、イラスト、工作など多種多様です。7月15日には、今年度6回目のクラブが行われ、その中から三つのクラブの様子を紹介しました。

伝統文化クラブは、地域の方の協力を得て、「お囃子」の練習です。「道中囃子」になると思わず体が動き出すあたり、さすが角館っ子です。

科学クラブは、線香花火づくりです。成功すると「燃えてる!」「できた!」と歓声があがります。

パソコンクラブは、スクラッチを使ったゲームに取り



↓思わず体が動き出す! ↑燃えてる! ↑見てください、この集中心!

組んでいました。子どもたちのパソコンのスキルに感嘆しました。

印象的だったのが、子どもたちの「笑顔」と「活気」と「集中心」が素晴らしいことです。子どもたちは自分の興味に応じたクラブを選択。この時間を心待ちにしていたことが表情にあふれていました。やる気にあふれた素敵な表情をみるのができました。

西明寺小・中学校 第1回合同学校評議員会

仙北市教育委員会では、地域と学校が連携・協働して子どもたちの学びを支え、地域とともにある学校づくりを進める「コミュニティ・スクール」の導入に向け準備を進めています。今年度は、西明寺小・中学校をモデル校に指定しており、7月21日には小・中合同での評議員会が行われました。

はじめに、小・中学校を回って授業に取り組む子どもたちの様子を参観しました。その後、評議員と校長先生方との懇談が行われ、コミュニティ・スクールとしての取り組みの進め方や学校経営について概要説明や意見交換が行われました。各評議員から、小・中学生が交流できる活動や地域の伝統文化の継承といった、地域の子どものに願うことについての話題が出されました。

今後は、地域の願いや学校の思いを集める「熟議」を10月頃実施し、集めた意見をもとに、来年度のコミュニティ・スクールとしての具体的な取り組みについて評議員会で話し合われる予定です。



授業参観の様子から発表する人に向けて聞く姿勢に感心する評議員の皆さんでした。

伝統文化クラブ 6年 熊谷汐莉さん
私は、小太鼓を担当しています。「おやま」「や」「拳ばやし」など、どれも好きですが、やはり「道中囃子」が一番好きです。地域の方が丁寧に教えてくださり、楽しく演奏できるのでクラブの時間はいつも楽しみます。

パソコンクラブ 6年 飯塚亮介さん
プログラミングで、ネコを動かしています。自分のセリフを言わせたり、ネコを回転させてりして動かすことができます。指示を組み合わせることが難しいのですが、楽しいです。

科学クラブ 6年 小林修彦さん
科学クラブは、材料を準備して自分で実験することが面白い!今まで意識しなかったことが、不思議になります。鉄の粉が花火のもつと知ると、びっくりしました。

ともに輝く社会へ 認め合い広げよう 理解の輪

仙北市男女共同参画情報

vol.7
アクション宣言をご紹介します!
今回の「アクション宣言」は、伊藤隆一郎さんです。伊藤さんは、建設コンサルタント会社の代表として、男女の区別なく、社員一人ひとりに合わせた柔軟な役割分担を行うなど、個々の能力を最大限引き出せる職場環境づくりに取り組んでいます。

わたしのアクション宣言!



伊藤隆一郎さんと従業員の皆さん

アクション宣言って?
固定的な男女の役割分担や過去の経緯から、男女の間に生じている差を解消するために自主的かつ積極的な取組を宣言するということです!

問合せ
仙北市男女共同参画推進委員会事務局
(仙北市企画政策課内) ☎43-1112

